

〔 久良岐能舞台 〕
令和 4 年度業務報告及び収支決算
〔 株式会社シグマコミュニケーションズ 〕

※文中の事業欄において、
●：主催事業 ○：共催事業 を示します。
※文中の達成指標、達成状況欄において、
□：定量的指標 ■：定性的指標
を示します。

I 施設の概要

施設名	久良岐能舞台
所在地	横浜市磯子区岡村 8-2 1-7
構造・規模	木造平屋建て
敷地・延床面積	延べ床面積 341.66 m ² 管理区域面積 4,581.00 m ²
開館日	昭和 62 年 10 月 6 日

II 指定管理者

法人名	株式会社シグマコミュニケーションズ
所在地	東京都港区芝 4-1-23 三田 NN ビル 3F
代表者	代表取締役社長 村上雅弘
設立年月日	昭和 61 年 4 月 1 日
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

III 指定管理に係る業務総括

1 基本的な方針の総括

【指定管理期間中の使命の実現】

- ①市民が能楽等に親しむ機会を提供し、能楽等を中心とした市民の学習・創作活動・技術研鑽を支援すると共に、能楽等が横浜の市民文化の一つとして定着・発展するための役割を担いました。
- ②能楽等の練習機能を軸として、子どもたちが古典芸能に接する機会を提供するとともに、能楽等の継承及び新たな愛好者の育成等に努め、横浜における能楽等の振興拠点となる活動を行いました。
- ③久良岐まつりについては、町内連合会と調整の結果、新型コロナウイルスの影響を鑑み庭園でのイベントは中止となりました。能舞台では予定通りコンサートを実施し、多くの市民に来館いただきました。伝統芸能をより身近に感じていただけるよう、能楽と和楽器によるコラボコンサートを行うことで、能楽等の普及に努めました。
- ④久良岐公園の一角に位置し、自然環境に恵まれた日本庭園内にあることから、公園管理者、地域と連携して環境を維持・保全すると共に、地域の文化的コモンズの形成を見据えて市民協働の取組を進め、能楽等を通じた市民文化の振興及び活力あるまちづくりに寄与しました。
- ⑤より多くの市民が文化芸術活動を行えるよう、伝統芸能以外での利用も広く受け入れました。

【ミッションへの対応】

- ①伝統芸能以外でのご利用のお客さまには、あらかじめ“能舞台”を使う上での注意事項を丁寧に伝え、より多くの市民が幅広く文化芸術活動を行える拠点として貸し出しを行いました。
- ②地元で活動されている方から海外でも広く活躍されているアーティスト、人間国宝の狂言師等にご出演いただき、低廉な参加料金で上質な公演を提供いたしました。
- ③初心者から経験者までの幅広い層を対象として、能楽・囃子・日本舞踊の講座を引き続き開催し、伝統芸能愛好者の育成と普及振興を図りました。
子どもたちが日本の伝統芸能に触れる機会として、「狂言鑑賞教室」をインリーチ・アウトリーチにおいて実施しました。また、4歳からの能楽講座も実施し、本物の体験を通じた能楽の普及に努めました。
- ④近隣施設と連携し、事業や広報活動を行うことで、地域施設の知名度向上・地域の文化芸術活動の活性化を推進しました。
- ⑤日常清掃により、施設や庭園を常に綺麗な状態に保ち、修繕が必要な個所を見つけた際には直ちに修繕を行いました。SNSやホームページ、チラシ等を活用し、久良岐能舞台の情報を広く発信し、知名度向上に取り組みました。また、アンケート等で頂いたご意見は運営会議にて職員全員で共有し、改善できるものはすぐに改善するよう努めました。
- ⑥玄関に消毒液、検温器を設置したり、稽古で使用できるよう持ち運び可能なアクリルパーテーションを用意、備品を消毒する等、新型コロナウイルス対策を実施し、お客さまが安心してご利用いただける環境を提供できるよう努めました。

2 令和4年度の業務の方針及び達成目標の総括

【全体業務の総括】

指定管理期間第4期の初年度として事業の着実な実施に努めました。

1. 文化事業の総括

- 高齢化が著しい能楽愛好者の減少に対応して、若返りや新たな愛好者の育成を図るための事業として平成23年度から行っている謡・仕舞講座、日本舞踊基礎教室を継続して実施しました。一度受講いただいた方は継続して受講いただき、初級コースを終えた後も中級コースで引き続き稽古に励んでいただいております。しかし、新型コロナウイルスの影響で、長期的に稽古をお休みされる方が増え、講座の出席率が低下してしまいました。一度の講座で時間をずらしながらマンツーマンで稽古を行う等の対策をしましたが、高齢の方が多いこともあり、出席率向上にはあまり効果は得られませんでした。また、新規受講生の獲得は講座受講生募集のための事業の実施、チラシやホームページでの情報発信を行いました。目標人数には届きませんでした。引き続き広報活動を行い、募集活動に取り組んでまいります。
- 近隣小学校を誘致して実施する教育普及事業「小学校向け狂言鑑賞教室」は人数制限・原則各回1校という条件のもと開催し、次世代育成に貢献しました。横浜市芸術文化教育プラットフォームによるアウトリーチ事業「アーティストが学校へ。」では5校のコーディネーターを努めました。これにより教育の場面を通しての伝統芸能の普及を推進しました。学校からも“本物”に触れることで伝統芸能の面白さを知り、生徒の学習意欲が高まったと大変好評をいただきました。
- コンサートや怪談、施設特性を活かした蠟燭能等、幅広い事業を行うことで、初めて来館されるお客さまが増加し、当館の知名度向上につながりました。

2. 施設運営の総括

- 利用者の中には、高齢化によりメンバーが減少し、解散している団体が増加しております。団体が引き続き活動できるよう、貸館で利用されている団体のメンバー募集についても協力するなど様々な機会を利用して施設の周知に努め、利用率の向上を図りました。
- 公共施設の職員として相応しい職員育成のため、個人情報や人権に関する研修を行い、非常時にも迅速に対応できるよう、防災訓練の実施や危機管理対応マニュアルの見直し等も行いました。

- 横浜市のガイドラインを遵守し、新型コロナウイルスへの対策を徹底し、お客さまに安心してご利用いただける環境づくりに努めました。
- ボランティアスタッフ（久良岐能舞台サポートスタッフ）による市民協働の運営を推進しました。
- SNS やブログを活用し、久良岐能舞台の情報発信に努め、知名度向上を図りました。
- 活動場所を探している団体にお声がけし、発表・活動の機会を提供しました。

3. 施設管理の総括

- 庭園等の美観維持のための清掃管理は、職員による適切な維持管理活動のほか、久良岐能舞台サポートスタッフ（市民ボランティア）や南土木事務所所管のグリーンサポーター（ボランティア）も参加し、市民協働の活発な環境維持推進が行われました。
- 落ち葉の清掃や建物・階段のコケの除去、井戸蓋の取替、各部屋の障子の張替え、倒木の危険性がある木の伐採等、安全及び長寿命化のための維持管理を実施しました。
- 日常点検を行い、施設や設備の不具合を見つけた際には職員自らで行えるものは自らの手で修繕し、それ以外のものについては専門業者を手配することで素早く対応し、安全・安心して利用いただける施設の環境づくりに努めました。

4. 収支の総括

- 軽微修繕は職員自ら行うなど、節電・節水等、経費削減に努めました。
- 事業については客席数が少なく、さらに新型コロナウイルスの影響で人数制限を設けているため、収支バランスが非常に厳しくなっている状況です。なるべく収支バランスを近づけることが出来るような事業の企画を検討してまいります。
- 自主事業の講座については、欠席者が多いため収入に結びつけることができていない状況が続いております。受講生は高齢者が多いため、新型コロナウイルスの影響により、長期にわたって休む方が増加しております。安心して受講いただけるよう、持ち運びアクリルパーテーションの用意や受講の時間を区切り、講師とマンツーマンで稽古できるようにスケジュールを調整する等の取組を行いました。が、あまり効果は得られませんでした。講座に参加していただけるような対策を引き続き検討してまいります。

5. その他の総括

- 日報や日々の業務における問題点の発見、事業参加者や施設利用者からのアンケート集計結果などを検討対象としたPDCAの確実な運用を行い、自己業務評価を行いました。評価や点検の結果は全職員が共有し、次の業務改善へつなげました。

IV 業務の達成状況

1 文化事業について

(1) 能楽等を知り、親しみ、体験することができる機会の提供

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①幅広い市民が能楽等の伝統芸能を知り、学ぶことができる事業の実施 ●「日本舞踊早わかり公演4」 〔日本舞踊講座導入事業〕 ●「能楽入門大会」 〔能楽入門講座導入事業〕 「山伏と能楽師」（後援） ●「能の発信プロジェクト 蠟燭能 清経」公演	※「満足度」とは、アンケートにおける満足度5段階評価のうち、無回答を除く上位2段階（「大変良かった」及び「良かった」）の割合とする。 （以下同じ） □1 回実施 □1 回実施 □1 回実施 □1 回実施	日本舞踊基礎講座の導入事業として実施しました。公演は日本舞踊×フラメンコのコレボレーションとし、踊りの楽しさや日本舞踊の魅力を存分に伝えられる内容にいたしました。 能楽入門講座の導入事業として、喜多流・金春流・宝生流の3流を鑑賞して、囃子を含む能楽について体験できるワークショップを実施しました。 山伏と能楽師という新しい組み合わせで日本の伝統を紹介いたしました。出演者と調整の結果、本公演は当館は後援として事業をサポートする形になりました。 初心者向けに公演前の解説や、シーン解説のハンドブックの作成など、判り易い能の公演を実施しました。また、公演は久良岐能舞台の環境を活かし、蠟燭能を実施しました。 演目 蠟燭能 清経	□1 回実施（5月22日） 参加者数 80名 満足度 100% アンケート回収率 48.8% □1 回実施（7月3日） 参加者数 23名 満足度 100% アンケート回収率 91.3% 主催事業ではなくなったため、当館ではアンケートを実施せず □1 回実施（11月5日） 参加者数 76名 満足度 100% アンケート回収率 78.9%

○「横浜芸者」	□1 回実施	横浜市南公会堂との共催公演。横浜芸者の唄や演奏と神楽を組み合わせたコラボレーション公演を実施し、横浜文化を普及しました。	□1 回実施（12 月 10 日） 参加者数 303 名 満足度 97.3% アンケート回収率 74.6%
●「新春竹灯籠まつり」	□1 回実施	お正月らしい横浜芸者によるパフォーマンスと神楽を実施しました。公演後は庭園の竹灯籠による幻想的な世界をお楽しみいただきました。	□1 回実施（1 月 14 日） 参加者数 76 名 満足度 97.8% アンケート回収率 78.9%
●第 15 回久良岐狂言会～野村萬～	□1 回実施	人間国宝である野村萬氏を招き、舞台と客席の近さを生かし、素晴らしい狂言師の演技を楽しんでもらいました。解説を取り入れ、初めての方でも楽しめる工夫をしました。	□1 回実施（3 月 11 日） 参加者数 75 名 満足度 100% アンケート回収率 88.0%
②地域の文化施設として市民に親しまれる施設となるため、施設に興味を持ってもらうための事業 ●「くらきナイト」	□1 回実施	知名度向上のための取り組みとして、久良岐能舞台の自然環境を生かし、夏らしく、琵琶奏者による怪談講談を実施しました。	□1 回実施（8 月 6 日） 参加者数 63 名 満足度 100% アンケート回収率 97.7%
●KURAKI スペシャルコンサート	□1 回実施	久良岐能舞台の囃子（音楽）のルーツからコンサートを実施。三味線奏者の演奏と能楽師による仕舞のコラボレーション公演を実施。	□1 回実施（10 月 23 日） 参加者数 76 名 満足度 98.1% アンケート回収率 86.8%
●クラシックコンサート	□1 回実施	新規顧客獲得のために音の響きが良い久良岐能舞台の環境を活かし、一流演奏家による本格的なクラシックコンサートを実施しました。	□1 回実施（12 月 4 日） 参加者数 77 名 満足度 98.3% アンケート回収率 90.9%

③市民の能楽等への関心や理解を深める機会として、久良岐能舞台所蔵の能装束等の展示・公開の実施 ●「能装束展」	□1回実施	所蔵能装束の虫干しを兼ね、所蔵能装束と当館独自に作成した簡易装束、能面の展示を行いました。舞台では地元の面打師、岩崎師によるワークショップを実施しました。	□1回実施（9月4日） 参加者数 94名 満足度 97.8% アンケート回収率 92.0%
---	-------	---	--

(2) 能楽等に携わる人材を育み、市民の活動を支援することで、近隣住民を中心とした市民の文化芸術活動の可能性を広げる

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①能楽等の伝統芸能のすそ野を広げる様々な市民向けの謡曲・仕舞・囃子講座等の実施	「久良岐能楽講座謡・仕舞」 喜多流・金春流・宝生流 □参加者数 初級：各流5名以上、中級：各流10名以上 「久良岐能楽教室 囃子」 ■実施時期 通年 □参加者数 10名以上 「日本舞踊基礎教室」 □参加者数 10名以上	謡曲・仕舞・囃子・日本舞踊講座の実施 能楽愛好者一般及び久良岐能舞台を利用する能楽愛好者の高齢化による施設利用の低下傾向を受け、愛好者の若返りを図り、施設の活性化を増進する目的をもって、シテ方三流及び囃子方の講座を実施しました。 全国的にも例を見ない「通年型」の講座とし、水準の高い初級の愛好者を早期に育成する方針で運営しました。 [取組み] 「喜多流 謡・仕舞講座（初級・中級）」 「金春流 謡・仕舞講座（初級・中級）」 「宝生流 謡・仕舞講座（初級・中級）」 「能楽教室 囃子（大鼓、小鼓、太鼓、笛）」 流派に関わらず、日本舞踊の基礎的な技術や表現法などを関連する知識とともに学ぶ、講座としました。	□事業参加者 結果： 喜多流謡・仕舞講座 初級：1名 中級：4名 金春流謡・仕舞講座 初級：3名 中級：8名 宝生流謡・仕舞講座 初級：0名 中級：10名 （人数は増減あるため、年間参加者の平均で算出） □能楽教室 囃子 受講者数 17名 □日本舞踊基礎講座 受講者数 5名

②利用者情報、活動継続に向けた情報の提供等による活動支援	■利用者情報の提供	施設 HP に利用者情報を提供し、活動継続に向けての支援を適切に実施しました。	■利用者情報の提供、活動継続に向けての支援を適切に実施しました。
③利用者団体の会員募集支援など新たな愛好者の発掘等による利用者団体の活性化	■利用者団体の会員募集支援	施設 HP に施設を定期的に利用する団体の会員募集の情報を掲載しました。	■能楽等の定期利用団体の会員募集の支援を行った結果、約5名の方を各団体へ紹介することができました。
④地域コミュニティを巻き込んだ、インリーチ事業等による、能楽等の伝統芸能の体験講座の実施	近隣小学校を招待しての事業の実施 □3日間	能楽と子ども達をつなぐ教育支援事業。 久良岐能舞台近隣3区(磯子区・南区・港南区)の小学校6年生を学校単位で招待し、教科書に出ている狂言「柿山伏」の鑑賞及び狂言ワークショップを教育支援事業として開催。 能舞台で狂言師による狂言を観賞し、狂言ならではの所作や発声などを学習・体験してもらいました。 講師 善竹十郎 善竹大二郎 野島伸仁	
⑤横浜市芸術文化教育プラットフォーム等のアウトリーチ事業により、幅広い子どもたちへの能楽等体験事業の実施	□受託数5校	久良岐能舞台から狂言師を市内小中学校へ派遣し、教科書に取り上げられている狂言「柿山伏」の芸術鑑賞及び狂言体験講座を開催しました。 横浜市芸術文化教育プラットフォーム主催「アーティストが学校へ」において、アーティストと学校の仲介役であるコーディネーターを担当し、今回で11回目の参加となりました。 講師(狂言) 善竹十郎 善竹大二郎 野島伸仁 石倉昭二	□久良岐能舞台担当分 狂言教室受託校5校 アウトリーチ活動として久良岐能舞台担当の古典芸能(狂言教室)を実施し、学校単位で狂言を体験し、伝統芸能の普及に繋がりました。 実施学校名 12月2日 青葉台小学校 111名 12月2日 牛久保小学校 90名 12月14日 本宿小学校 114名 12月14日 南本宿小学校 144名 1月20日 飯島小学校 91名
⑥次世代に伝統芸能を継承するために、能楽を身近に感じられるような講座を実施	□「4歳からの能楽」 受講者数20名	次世代の伝統芸能を継承するための取り組みとして、子供向けの能楽講座を実施しました。	□4歳からの能楽 受講者数 9名

2 施設運営について

(1) 能楽等をはじめとした文化芸術の活動の場を市民に提供し、市民自らの活動を支援

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①能楽等の伝統芸能に関する利用のみならず、その他の目的での利用についても貸館を実施	■幅広い市民に文化芸術活動の場を提供	空いている区分については、婚礼前撮りやMV撮影、演劇等、幅広く市民の方々に施設を貸し出しました。	■能楽のみならず、様々な利用団体に施設を貸し出し、市民に活動の場を提供しました。 新規利用団体：25団体増
②お客様同士の騒音トラブルを防ぐため、調整を行う	■貸館利用者の施設利用を調整	防音の施設ではないため、楽器の演奏等、音の出る利用が入っている際には、後から他の諸室を利用されるお客様には必ず案内を行い、トラブルが起きないように調整をしました。	■お客様の利用内容を把握し、調整を行いました。その結果、トラブルや苦情はありませんでした。
③市民に発表・活動の場を提供	■久良岐能舞台で活動する団体に発表・活動の場を提供	久良岐能舞台での能楽講座、囃子講座の受講生の研鑽会を実施しました。 また、自主事業の「のだて」では、茶室を利用している団体に協力をしていただき、腕前を披露する機会を設けました。	■久良岐能舞台で活動する団体へ発表・活動の場を提供いたしました。

(2) 地域の様々な施設・団体・資源を有機的に結びつけ、地域コミュニティのベースとなる文化的コモンズの形成に寄与

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①施設と地域の相乗効果を発揮し、能楽施設に親しみ、伝統芸能の楽しさを味わうための事業の実施	□久良岐まつり 参加者数 2,000 名以上	地域との連携を図り、地域の文化施設として伝統芸能の普及と振興に役立てることを目的とする「久良岐まつり」を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止となりました。	毎年地元の方には楽しみにしていただいておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止となりました。
②市民協働の視点による企画、運営、清掃等のサポートスタッフの活用	■市民協働の運営 公募による市民のボランティアスタッフをサポートスタッフと名付け、事業企画、運営、庭園清掃等の各分野において活用を推進する。	市民と共に久良岐能舞台を運営するという視点から、自主事業運営、庭園清掃の2分野に分けて協働を推進しました。	■サポートスタッフによる運営への協働実施 事業運営における協働の実施 ・自主事業関係の参加 12回 庭園清掃・剪定における協働の実施 ・参加 13回

③近隣施設等と連携しながら、公共施設として地域活性化のための活動を推進	■近隣施設との事業等の連携の実施	久良岐能舞台の知名度向上・伝統芸能普及を目的として、市内の一部の施設と事業連携を企画しました。	■横浜市南公会堂との共催事業の実施や、磯子区公共施設との連携でスタンプラリーを実施する等、近隣施設との連携により地域活性化に貢献しました。
-------------------------------------	------------------	---	---

(3) 施設全体の運営に対するアイデア・ノウハウの一層の活用

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①施設環境を活かした居心地の良い空間の整備	■庭園スピーカーの活用、ベンチの設置等、市民の「憩いの場」となる取組を実施	タイミングを見ながら、庭園スピーカーで囃子の音を流したり、お散歩の際に休憩できるようベンチを設置しました。ベンチは老朽化してきたものは新しく作り直し、リニューアルしました。	■散策で訪れる方が多いため、能舞台にも興味を持ってもらえるよう、事業と連動してスピーカーから音を流したり、途中で休憩できるスペースを設置しました。
②散策の市民を施設に誘導するための取組	■保健所や貴市と相談の上、抹茶やお茶菓子の提供を検討	自主事業として、庭園を活かして野点を実施しました。	■庭園の自然環境を活かし、「野点」を実施しました。普段能舞台に訪れる機会のなかった幅広い年齢のお客さまが来館され、久良岐能舞台の知名度向上に繋がりました。
③古典芸能や施設に興味を持ってもらうための取組	■古典芸能に関する動画の配信 ■お客様用に用意した装束の着付け体験を実施	YouTubeにて動画を配信しました。 観光客向けに制作した当館オリジナルの簡易装束を使って、着付け体験を実施予定でしたが、新型コロナウイルスの影響を踏まえ、中止となりました。	■古典芸能に関する動画をYouTubeにて配信し、普及活動に取り組みました。 ■新型コロナウイルスの影響を踏まえ、中止となりました。
④より多くのお客さまに催事を楽しんでいただくための取組	■ライブ配信の対応	自主事業について、ライブ配信も検討しましたが、来館されるお客さまを優先とし、実施は見送りました。	■利用者でライブ配信を行う方へのネット環境の提供や画面の確認等、配信のサポートを行いました。

⑤運営会議等による PDCA サイクルの確立	■毎月の運営会議において問題点の改善討議と方針策定、実施	月次運営会議において問題点の提起と改善検討及び方策等を策定しました。	自主事業での受付フローについて、早めに来館されるお客様の対応として、開場時間の 30 分前から受付は行い、整理券を配布。開場時間になるまでは庭園散策してもらう等、受付のフローを見直し、お客様への案内を職員間で統一しました。
------------------------	------------------------------	------------------------------------	---

(4) 組織的な施設運営、その他施設運営に関する事項

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①現場運営に最適な現場管理の実施	■能楽等の専門施設として必要な知見と実行のみならず、庭園に関する知識を持って注意深く管理にあたり、職員全員が対応する ■大規模な事業や特別な支援が必要な場合は本社各部門から支援を行う ■突発的に休みを取らなければならない職員がいる場合も、基本的にはシフトで調整し、バックアップが必要な場合は、業務管理担当や、近隣施設職員がサポートできる体制の構築	能楽等の知識を得るための情報収集を行い、庭園の管理についても南部公園緑地事務所と連携を図りながら適切な管理を行うよう努めました。 演出を伴う公演については、本社の舞台技術スタッフが入り、照明等の演出を行いました。 突発的に休みを取らなければならない職員がいる際でも、施設運営に支障をきたさないよう、シフトを調整して対応しました。	■職員は能楽についての知識を身につけるため、久良岐各講座講師によるアドバイス、研修やネットでの情報収集を行いました。また、庭園についても南部公園緑地事務所と連携しながら倒木の恐れがある木は早めに伐採する等、庭園の維持管理についても適切に実施しました。 ■コンサートや蠟燭能等の自主事業において、照明器具を持込、本社技術スタッフが入り、照明等の演出を行いました。 ■職員の突発的な休みやトラブルが起きた際にも対応できるよう、近隣施設や本社からのバックアップができるよう体制を構築しました。
②必要人材の配置と職能	■本社統括責任者（業務管理担当）：1 名 館長（現場管理責任者、事業企画）：1 名 職員・主任（運営業務責任者）：1 名 職員（施設運営等）：5 名	適切な人員配置で実施しました。	■配置実績 本社統括責任者（業務管理担当）：1 名 館長（現場管理責任者、事業企画）：1 名 職員・主任（運営業務責任者）：1 名 職員（施設運営等）：7 名 （職員の内 1 名は障害者雇用。人件費は本社持ちのため、支出には含まれない）

③主要人材の能力担保	■施設運営に関する研修や運営会議等を通じた能楽等の専門施設に相応しい認識の理解の促進や他施設での能楽鑑賞等を実施	各自情報収集を行うほか、伝統芸能に関する公演に参加し、見聞を深めました。	■現場担当の職員に研修を実施しました。
④各専門家によるアドバイス	■能楽、日本舞踊・邦楽、古典芸能全般それぞれの分野について、事業企画、実施に関して専門家に適宜意見を求めるなど、専門施設としての一定の水準を確保	能楽講座講師等にご意見を伺いながら、運営に反映するよう努めました。	■能楽や日本舞踊等の講座でお越しいただいている各講師にご意見を伺い、専門家のご意見・アドバイスを運営に反映するよう努めてまいりました。
⑤市民ボランティアの配置・活用	■公募による市民のボランティアスタッフ（サポートスタッフ）の事業補助、庭園清掃等の各分野において活用を推進 ■市民協働の安定的な推進のため、ボランティア保険を付保し、市民と施設の利益となるように実施	自主事業補助、庭園清掃の2分野においてボランティアスタッフに協力していただきました。 ボランティアスタッフ全員にボランティア活動保険を付保しました。	■自主事業運営、美観維持庭園清掃各業務は市民ボランティアと協働して実施しました。 2023年3月末現在のボランティアスタッフ登録数：11名 ■登録スタッフ全員にボランティア保険を付保しました。
⑥その他施設運営に関する事項	休館日の届け出 許認可及び届け出 目的外使用料の申請 財務状況の確認	適切に実施しました。	適切に実施しました。

3 施設管理について

(1) 保守管理業務

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①日常点検等による、きめ細やかな施設管理に基づく予防保全の実施	■毎日の清掃時に各部分の目視による点検を行い、変化が見られる場合はより詳しく点検を行い、その状況に応じて対応	毎日の清掃時に各部分の目視点検を行い、変化が見られる場合はより詳しく点検を行い、状況に応じた対応を行いました。	■日常点検に基づく予防保全を適切に実施しました。
②定期点検による施設の維持管理	□専門業者による空調・設備等の定期点検の実施	専門業者による定期点検を実施しました。	□5回実施 4月18日、7月25日、10月17日、1月16日、2月20日 実施。

③施設・設備・備品等の維持管理・保全業務の実施	■業務の基準に従い、適切かつ確実に業務を実施 □年 1 回、物品管理簿の棚卸を行い、物品が適切に管理されているか確認し、市に報告 ■庭園内門扉の適切な管理	適切に実施しました。 物品管理簿の棚卸を行い、市に報告しました。 適切に管理しました。	■竹灯籠の竹が腐食したため新しい形の灯籠を作成しました。暗くなっても掲示板が見えるように電気を設置する等、施設の維持管理を適切に実施しました。 □年 1 回、物品管理簿の棚卸しを行い、市に報告しました。 ■9 時に開錠し、16 時 30 分に施錠し、適切に管理を行いました。また、雨の日は階段が滑って危険なため、門の開錠は行わないようにしました。
④能舞台、能装束等所蔵品の管理実施	■能舞台の日常点検の実施、能装束の虫干し実施と定期的な防虫剤交換	能舞台の管理は職員による毎日清掃時及び舞台利用毎に目視点検を中心に実施しました。収蔵室内の湿度管理、収蔵箆管内の除湿、防虫に特に注意し、適切な管理を行いました。	■能舞台は毎日清掃時及び毎利用後に点検を行い、異常の有無、使用上の適否を観察しました。 ■能装束を保管している鏡の間の湿度を管理するため、除湿機を常時稼働させました。 ■装束を保管している和箆管内の水取り剤、防虫剤を適宜交換しました。 ■9 月 4 日 虫干しも兼ねた所蔵能装束公開展示を実施しました。
⑤迅速かつ臨機応変な施設管理・修繕対応の実施	■不具合や破損等が発見された場合、小破修繕であれば職員自ら修繕し、経費削減に努める ■現に設置されている設備の場合は同一製造者の市内代理店等を基本とし、その他のものは横浜市内の業者を最優先に委託	清掃時や巡回時に建物・備品についてチェックを行い、軽微な不具合であれば職員が速やかに修繕を実施しました。 職員が修繕可能な場合以外は市内の業者から見積を徴収し、最低価格の業者に委託しました。すでに設置されている設備等の場合、同一製造者の代理店を基本としています。	■障子の張替や椅子の脚の修繕等、小破修繕については職員自ら修繕し、経費削減に努めました。 ■自分達では対処できないものについては市内の業者を優先して依頼し、適切に修繕を行いました。

(2) 環境維持管理業務

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①南部公園緑地事務所と連携した庭園内の安全管理	■安全で安心して利用できる久良岐能舞台の庭園環境を実現するため、所管の南部公園緑地事務所と緊密な連携を行い、快適な環境が保全されるよう対応	事故発生を未然に防止するため、定期的な巡回や清掃時に危機発生の可能性を日常的に点検し、危険個所があれば直ちに南部公園緑地事務所へ連絡しました。	■庭園内で、ハチの巣や鳥の死骸、倒木の危険を発見した際には南部公園緑地事務所と連携し、迅速に対応することで安全管理に努めました。

(3) 保安警備業務

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①警備・安全管理業務の実施	■見回りの実施等、敷地全体の犯罪や火災等への警戒と事故等の未然防止活動と安全管理を実施	多くの来館者、庭園散策の市民等の安全を確保するため、見回りの実施により犯罪や火災の警戒と予防に努めました。	■警備・安全管理業務は適切に実施しました。 ・見回り：日中 適宜実施 夜間 1時間毎実施

(4) 防火・防災等

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①庭園内の安全管理、火災予防の実施、危機管理対策	■大きく成長した樹木の多い庭園を持ち、純木造の建物の施設であるため、安全管理や火災予防など、全体的な観点から危機管理対策を推進 □事故等発生時の対応について、防災訓練を全職員で実施 ■久良岐能舞台緊急連絡網を作成し、市に提出するとともに、全職員に周知徹底	・安全管理 庭園内には老化した樹木や警戒を要する枝、降雨時の滑りやすい階段や斜面があり、事故が発生しないよう、安全のための予防措置を行いました。 ・火災予防 庭園内における火気防止及び施設内における生火の防止を徹底しました。事業において扱う際には消防署に事前に届け出ました。 ・危機管理対策 災害の予測に基づく対応・対策・訓練を実施しました。 磯子消防署、警備会社指導による非常時の対応訓練を行いました。 久良岐能舞台緊急連絡網を作成し、市に報告すると共に、全職員に周知しました。	■石段のコケの除去、落ち葉の清掃、庭園樹木の確認、本社主導による電源回りコードの定期点検の実施等、安全管理・火災予防・危機管理を適切に実施しました。 □7/11 磯子消防署指導による防災訓練 AED 取扱い訓練、消火訓練 9/1、火災受信機操作訓練 ■緊急時の連絡体制の構築は適切に実施しました。

	■久良岐能舞台の運営に則したマニュアルに基づいた安全管理	施設に即したマニュアルに基づき、安全管理に努めました。	■芝刈りの際、葉が飛んできて職員が一時的に目を痛める事故がありました。それを踏まえ、芝刈り時にはゴーグルを着用するようにマニュアルを更新いたしました。随時マニュアルを更新しながら、安全管理に努めます。
--	-------------------------------------	------------------------------------	---

(5) 緊急時の対応

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①緊急時の対応	■緊急事態が発生した場合は、直ちに必要な措置を講じるとともに、文化振興課を含む関係者に対して緊急事態発生を旨を通報すると共に、市と協力して原因調査を実施	事件、事故や災害が発生した場合は必要な措置をとると共に、文化振興課や関係者に連絡し、対応に当たります。	■防災訓練において対応措置の実施訓練を行いました。

(6) その他施設運営に関する事項

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①新型コロナウイルスと共生する運営体制	■全職員の手洗いや除菌等の感染予防措置 ■職員に感染の疑いがあった場合には、出勤はさせずに PCR 検査の結果が出るまでは自宅待機とする。その間はシフト調整を行い、人数が足りない場合は、本社職員、または弊社が管理する近隣施設からバックアップ人員を派遣 ■感染症対策のための備品の設置	全職員が手洗い・消毒等の感染予防を行いました。 濃厚接触者の疑いのある職員は自宅待機とし、PCR 検査の結果と医師の指示を仰いだうえで職場に出勤するようにいたしました。 感染症等のリスク軽減のため、消毒薬を配置しました。アクリル板パネルを準備し、飛沫対策を行いました。見所に換気扇を設置し、定期的に換気を行いました。	■職員は手洗いや手指の消毒、備品の消毒等、感染予防措置を行いました。 ■感染の疑いや濃厚接触者の疑いのある職員は出勤させず、シフト調整を行うことで施設の運営に支障をきたさないよう努めました。 ■消毒薬の設置やアクリルパネル、非接触体温計、換気扇の設置等、感染症拡大防止のための備品を設置しました。

②施設の管理を行う上で必要な資格者の配置	□甲種防火管理者	適切に配置しました。	■甲種防火管理者を選任し、磯子消防署に防災計画を提出しました。
----------------------	----------	------------	---------------------------------

4 収支について

(1) 利用料金の考え方と具体的な料金設定、支払方法や割引料金・減免等の考え

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①利用料金・割引料金の適切な設定	■利用料金を適切に設定 ■利用 1 ヶ月前を切った諸室の空きコマについて、「直前割引」の実施を検討	横浜市能楽堂条例のとおり設定しました。 タイミングや割引率等の検討を行いました。	■適切に設定しました。 ■検討したところ、1 ヶ月前のタイミングだとすでにご利用いただいているお客様もこのタイミングで予約される可能性があるという意見もあり、新規顧客獲得のための対応ということを踏まえ、3 日前や 1 週間前の直前割引にすること等、引き続き検討してまいります。
②多様な支払方法によるサービス向上	■窓口現金払い、現金書留、振込等、複数の支払い方法の運用	郵送による利用申請や現金書留や振込でのお支払いを可能としました。	■高齢者や遠方の利用者もいることから、申請の手続きについて、郵送による申請及び現金書留・振込による支払を可能にし、利用者サービスの向上と利用者拡大を図りました。

(2) 指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減等効率的運営の努力

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①自主事業で実施している講座の受講生増加を図る	■受講生の募集を早い時期に行い、チラシの配架や SNS・HP で呼びかけを行い、広く周知する ■受講生に継続して事業に参加してもらうために、感染症対策の徹底、ポイント制度の運用を行う	募集開始時期を決めずに早くから募集のチラシを配架し、HP 等でも募集を行いました。 受講生は高齢者が多いため、安心して受講できるよう、消毒液の設置、飛沫防止アクリルパネルを用意しました。また、スケジュールを調整し、講師と	■例年、7 月の能楽入門公演にて募集を開始するが、それ以前からチラシを作成し、横浜能楽堂の DM に入れていただいたり、各施設ラック等に置かせていただいた。その結果、新規受講生を 12 名獲得しました。 ■感染症対策の実施やポイント制度を運用しましたが、あまり効果は得られず、欠席する受講生が多く見受けられます。今後も対策を検討してまい

②貸館の利用促進を図る	■撮影利用での利用も促進 ■地域住民に向けてリモートワークでの利用も促進 ■利用の少ない時間帯の割引制度導入を検討	マンツーマンで受講できるようにしました。 出席率向上のためポイント制度を運用しました。 婚礼の前撮りやコスプレ撮影等の利用まで、幅広く貸し出しを行いました。 ネット環境が整っているため、会議利用等でもご利用いただけることを案内しました。 4 (1) ①のとおり	ります。 ■婚礼の前撮りやコスプレ撮影等の利用まで、幅広く貸し出しを行いました。口コミで広げていただき、利用が増加しております。 新規撮影利用団体：12 団体増加 ■リモートワークでの利用はありませんでしたが、能楽に限らず、幅広い目的でご利用いただける旨の案内を行いました。 ■4 (1) ①のとおり
③物品販売の実施	■利用者に向けて書籍や足袋等の物品販売を実施	伝統芸能に関する書籍やDVD、白足袋を販売しました。	■指定管理料以外の収入源の確保、伝統芸能普及の目的で物品販売を行いました。
④助成金の獲得を図る	■支出の多い事業については、事業参加者増加を図るとともに、助成金も獲得することで、収支バランスがとれるように尽力する	感染症拡大防止のため、人数制限を設けて実施しました。また、横浜市地域の文化芸術活性化支援事業の助成金を獲得しました。	■事業は感染症拡大防止のため、人数制限を設けて実施しました。 横浜文化を普及する目的で「横浜芸者」による事業を実施し、横浜市地域の文化芸術活性化支援事業の助成金 200 万円を獲得しました。
⑤「無駄を省くが無理をしない」という考えのもと、余分なコストの削減に努める	■施設や設備の小破修繕を自ら対応、備品も自分たちで製作できるものは手作りする ■内部資料は裏紙を使用し、資源を再利用する	小破修繕については職員が修繕を行い、備品についても、購入するのではなく、制作できるものは手作りをし、経費削減に努めました。 内部資料は裏紙を利用し、資源の再利用に努めました。	■障子の張替や椅子の脚修繕等、職員が対応できる小破修繕は自ら修繕を行いました。また、音響・照明調整卓の操作用机を折りたたみ式で作製する等、備品についても手作りできるものは自ら作り、施設に合ったものを作成することで、経費削減に努めました。 裏紙を活用し、資源の再利用に努めました。

⑥自己点検・評価による効率的運営の実施	■水光熱費削減に努め、新電力への切り替えやプランの変更を検討 ■利用者アンケート、事業参加者アンケート、事業ごとの事業実施報告書等による自己評価と点検により改善点を抽出し、改善を推進 ■日常的施設運営においては、各種業務記録、日報などを基に定期的なミーティング等を通じて検討し、直ちに改善を実行	施設の利用がない時は消灯するなど、節電に努めました。 自主事業の参加者アンケートは毎回確実に実施しました。業務の自己評価を実施しました。直ちに改善できる事項はすぐに実施しました。 日常的運営においては、各種業務記録、日報などを基に定期的なミーティングを通じて検討し、直ちに改善を実行しました。	施設の利用がない時は消灯するなど、適切な管理を行い経費削減に尽力しました。また、電力の大幅な値上げが告知されたため、新電力への切り替えを行いました。 ■照明・空調については事務所で操作する必要があるため、事業実施の際は照明のタイミングや空調操作について、見所から事務所への伝達をトランシーバーや電話の活用、ライトの点滅で伝える等、改善を重ねました。アンケート結果や業務の振り返りにより、改善点を抽出し、運営に反映しております。 ■日報や各種業務記録により、職員間の情報共有を行い、改善事項等があれば、定期的なミーティングにより、改善を行いました。 (事業参加者について、開館時間より早めに来た方への対応等)
----------------------------	--	---	--

5 各種計画書・報告書の作成及び業務評価

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①日報、月報の作成・管理 ②事業計画書・事業報告書の作成・管理 ③業務評価の実施	□業務日報の作成 □管理運営月報をモニタリングにおいて報告 □事業計画書・報告書の作成 □自己評価	適切に実施しました。 適切に実施しました。 適切に実施しました。 適切に実施しました。	□日報により職員同士、本社との情報共有を行いました。 □月報を毎月のモニタリングにて市に共有し、成果や課題を報告いたしました。 □適切に実施しました。 適切に実施しました。

6 その他

(1) 市の重要政策課題への対応

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①個人情報保護についての取組	■プライバシーマークの基準に則り、個人情報保護の徹底 □全職員に向けて個人情報保護研修を実施（年 2 回）	プライバシーマーク及び社内の個人情報保護規定に則り、利用者や事業参加者などの個人情報を適切に取扱いました。 全職員に個人情報保護研修を実施しました。	■個人情報を含むファイルはパスワード付きで送信する。個人情報の記載があるファイルについてはデスクに広げておかない等、プライバシーマーク及び社内の個人情報保護規定に則り、個人情報の保護を徹底しました。 □全職員を対象に個人情報保護研修を 2 回実施しました。（4/1、8/10）
②情報公開についての取組	■「各年度の業務計画書」「各年度の業務報告書」「各年度の休館日一覧表」のホームページでの公開、請求があった場合は事務所窓口において開示 ■施設の利用状況等、施設の貸出に関する情報は原則としてホームページに当該月の 6 か月先まで公開 ■その他の開示請求については、事務所窓口で対応し、必要に応じて文化振興課と協議の上で対応	適切に実施しました。 適切に実施しました。 文書等の開示請求はありませんでした。	管理運営に関する文書を、ホームページに掲載しました。なお、文書等の開示請求はありませんでした。 ■施設の利用状況を当該付きの 6 か月先までホームページにて公開しました。 ■文書等の開示請求はありませんでした。開示請求があった際の対応マニュアルを整備しました。
③人権尊重についての取組	□人権尊重の考え方を施設内で共有する人権研修の実施（年 1 回） ■公正、公平な管理	全職員に人権に関する研修を実施しました。 公平・公正な管理業務を実施しました。	■全職員を対象にハラスメント研修を実施しました。（1/26） ■公共施設であるという認識を持ち、公平・公正な管理業務を行いました。
④障害者差別解消	■当施設はバリアフリーではないが、障害を持つ方も平等に楽しんでいたけるよう、工夫する	すべての方が平等に楽しんでいただけるよう配慮しました。	■足の不自由な方が来館された際には、車の駐車スペースを確保する等の対応を行いました。

⑤男女共同参画	■職員は男女問わず雇用し、性別による待遇差はない	適切に実施しました。	■性別による職員への待遇差は一切ございません。
⑥環境への配慮	■ごみゼロルートへの参加、ごみの分別の徹底、クリーンエネルギーへの切り替え検討	適切に実施しました。	■横浜市ごみゼロルートに参加し、ごみの分別を徹底しました。また、電力については令和 3 年度に再エネ電気に切り替え、継続しております。
⑦市内中小企業優先発注についての取組	■委託、購入、どちらの場合も横浜市内の中小企業に優先的に発注	施設の維持点検に掛かる業務、保守修繕にかかる業務を市内の中小企業に委託しました。	■市内中小企業優先発注に関する取組は適切に実施しました。

令和4年度 「久良岐能舞台」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	25,343,000		25,343,000	25,343,000	0	横浜市より
利用料金収入	4,600,000		4,600,000	4,824,500	△ 224,500	
自主事業収入	7,530,000		7,530,000	6,151,545	1,378,455	自主事業参加料、講座受講料、等
横浜市による運営支援	0		0	435,000	△ 435,000	物価高騰に伴う支援金、負担金
雑入	250,000	0	250,000	2,078,607	△ 1,828,607	
印刷代	0		0	2,570	△ 2,570	コピー代金
撮影利用、イベント協力金	0		0	70,000	△ 70,000	
その他（助成金、物販）	250,000		250,000	2,006,037	△ 1,756,037	各種助成金、物販売上
収入合計	37,723,000	0	37,723,000	38,832,652	△ 1,109,652	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	17,970,000	0	17,970,000	17,635,654	334,346	
給与・賃金	16,100,000		16,100,000	15,844,126	255,874	
社会保険料	1,300,000		1,300,000	1,059,914	240,086	
通勤手当	540,000		540,000	707,614	△ 167,614	
健康診断費	30,000		30,000	24,000	6,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	該当なし
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
事務費	4,385,000	0	4,385,000	2,361,360	2,023,640	
旅費	230,000		230,000	137,130	92,870	
消耗品費	1,400,000		1,400,000	923,668	476,332	コピー用紙・事務用品・コピー機消耗品・等
会議賄い費	50,000		50,000	20,129	29,871	
印刷製本費	300,000		300,000	122,619	177,381	チラシ・チケット・パンフレット・封筒等印刷費
通信費	1,300,000		1,300,000	325,651	974,349	NTT・日本郵便・宅配便
使用料及び賃借料	5,000	0	5,000	3,510	1,490	
横浜市への支払分	5,000		5,000	3,510	1,490	物販目的外使用料、ドリンクコーナー目的外使用料
その他	0		0	0	0	
備品購入費	50,000		50,000	52,525	△ 2,525	
図書購入費	10,000		10,000	3,084	6,916	物販図書
施設賠償責任保険	100,000		100,000	87,130	12,870	賠償責任保険、ボランティア保険
職員等研修費	50,000		50,000	7,000	43,000	能楽研修
振込手数料	150,000		150,000	129,985	20,015	銀行振込手数料
リース料	160,000		160,000	155,444	4,556	コピー機・AED
手数料	350,000		350,000	315,485	34,515	広告宣伝費
地域協力費	230,000		230,000	78,000	152,000	自治会費、地域行事参加費等
事業費	8,230,000	0	8,230,000	11,948,305	△ 3,718,305	
自主事業費	8,230,000		8,230,000	11,948,305	△ 3,718,305	
管理費	3,160,000	0	3,160,000	2,521,212	638,788	
光熱水費	1,550,000	0	1,550,000	1,600,310	△ 50,310	
電気料金	1,500,000		1,500,000	1,600,310	△ 100,310	
ガス料金	0		0	0	0	
水道料金	50,000		50,000		50,000	
清掃費	230,000		230,000	136,982	93,018	庭園清掃用具購入費、専門清掃委託費
修繕費	600,000		600,000	168,025	431,975	各種小規模修繕費
機械整備費	450,000		450,000	409,200	40,800	警備会社委託費
設備保全費	330,000	0	330,000	206,695	123,305	
空調衛生設備保守	300,000		300,000	190,300	109,700	設備保守会社委託費
消防設備保守	0		0		0	同上
電気設備保守	0		0		0	同上・館内蛍光灯・舞台照明ランプ・舞台用フィルター等
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000	16,395	13,605	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	0		0		0	
共益費	0		0		0	
公租公課	2,300,000	0	2,300,000	2,433,752	△ 133,752	
事業所税	250,000		250,000	250,000	0	
消費税	1,900,000		1,900,000	1,953,293	△ 53,293	
印紙税	0		0	0	0	
その他（ ）	150,000		150,000	230,459	△ 80,459	ゴミゼロ回収
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	1,678,000	0	1,678,000	1,734,800	△ 56,800	
本部分	1,678,000		1,678,000	1,734,800	△ 56,800	一般管理費配賦額
当該施設分			0		0	
支出合計	37,723,000	0	37,723,000	38,635,083	△ 912,083	
差引	0	0	0	197,569	△ 197,569	